

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和2年11月10日（火）午前10時 議場

出席委員（7名）

（委員長）岡 村 英 治 （副委員長）矢田貝 香 織
安 達 卓 是 門 脇 一 男 田 村 謙 介 土 光 均
前 原 茂

欠席委員（1名）

尾 沢 三 夫

出席した事務局職員

土井次長 佐藤議事調査担当係長

傍 聴 者

一般1人

協議事件

- ・議会報告会等について
- ・その他

~~~~~

### 午前9時58分 開会

○岡村委員長 ただいまより広報広聴委員会を開会いたしたいと思ます。

尾沢委員から欠席の届出がありましたので、御報告いたします。

本日は議会報告会等について協議いたします。前回の委員会におきまして持ち帰りとしておりました案件について、お配りしております資料のとおり、取りまとめいたしましたので御覧いただいたと思います。広報広聴委員会のメンバーには入っておられない政英会、そして遠藤議員にも参考として御意見を伺いまして、資料に記載しております。御参照いただきたいと思います。

それでは初めに、事務局から資料について説明を求めたいと思ます。

佐藤さん。

○佐藤議事調査担当係長 では本日お配りしておりますA4の3枚物の資料になるんですけども、そちらを御覧いただきたいと思います。まず始める前に1か所訂正をお願いいたします。表紙のかがみのほうなんですけれども、本日11月10日の金曜日となっておりますが、火曜日の間違いでした。御指摘いただきました方、ありがとうございました。

1枚めくっていただきまして、会派持ち帰り案件の取りまとめと書いてあります横のA4判なんですけれども、そちらの資料を御覧いただきたいと思います。各会派からや議員さんからいただいた内容で取りまとめました内容を簡単に御説明いたしますと、下のほうになるんですけども、まず議会報告会についてなんですけれども、政英会さんと一院クラブ・遠藤議員については、今の時点では開催の判断が難しいというような主な御意見でした。その上の蒼生会さん、よなご・未来さん、公明党議員団さん、信風さん、日本共産党米子市議団さんについては、基本的には開

催を前提として開催する方向での御意見かなというふうに見ております。開催を前提とした方向で向かっていくということなんですが、その中でも2点協議をすべきことがあって、内容をお読みになられたらお分かりかと思うんですが、まず開催をするにはその時期ですね。時期についてはコロナのこともありますし、あと来年4月には市長選がございます。そのことも勘案して時期を考えたらいいじゃないかという御意見もございます。あと開催の方法について、コロナの関係で密にならないようにですとか、そういったことを協議していく必要が、もし開催を前提にするならあるのかなと思っていますところ。議会報告会については、そういう御意見が主な御意見なので、この後御協議いただいて、ちょっとした方向性でも示していただければと思いますし、あともう1点、広報広聴委員会の名称について、右側ですね。もう1点持ち帰り案件がございます。こちらにつきましては、よなご・未来さんは変更していく姿勢に同意ということなんですけれども、ほかの会派と遠藤議員さんにつきましては、現行のままでよいのではないかという御意見でした。とりあえず事務局からは以上です。

**○岡村委員長** 今、事務局のほうから説明をいただきました。協議を行っていきたいと思いますけれども、委員の皆さんから御意見をいただきたいと思います。また、会派意見の補足などの説明がありましたらそれをお願いします。どなたからでも結構ですので、お願いします。

門脇委員。

**○門脇委員** 私ども蒼生会は持ち帰りまして協議をいたしました。一応なかなか今のコロナ禍でどうなるか判断が難しいところではありますが、開催するという方向性をもって準備をしながら、前回まででしたら一応4月ということが前提となれば、1月にはいろいろ詰めていかなければならないんじゃないかということがございましたけれども、やっぱりコロナの状況を見ながらこれは判断しなきゃならないだろうということではありますが、その中で開催時期のことが、一応中で4月がどうなんだろうということで、信風さんがここに書いておられますが、私どももこの考え方と全く同じで、4月は市長選がある関係で予算が骨格予算となるので、その後に議会報告会するよりは、6月議会できちんと肉づけ予算も決定した後にするほうがいいんじゃないかということで、私ども蒼生会としてはそういうような意見にまとまりました。以上です。

**○岡村委員長** ありがとうございます。そのほかございませんでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** 一つは議会報告会に関してで、この前の話で1月頃は時期的にも準備的にも無理だろうと、やるんだったら4月頃というんだったら12月頃にはやるかやらないか結論を出さないと準備ができない。という話だったと思います。だから、少なくとも今の時点でやらないというふうに決める必要はないんじゃないかというそういったことではなかったかと私は思っているんですが、だから、やるという前提でいろいろ準備とか議論をしていけばいいというふうに思います。時期としては、今言ったように、コロナの状況、市長選が4月にあるということで、必ずしも4月にこだわる必要はないかなというふうに思います。

それからこの議会報告会に関連して、信風さんは言及していただいているんですが、市民向けのアンケート、これは要は議会報告会をこれまで2年間やってきて市民からそれをどう評価されているのか、どういう要望があるか、ある意味でなかなか議会報告会が開けないという状況なので、こういった議会報告会に関して、これまでやってきたことに関する総括的な意味でアンケートをやるというのは、一つの考え方ではないかなというふうに私は思います。

それから名称については、いろいろ意見を読みました。それぞれの意見に関しての私なりの考えとかがあるのですが、同意をしていただくのが無理かなというふうに思いました。ということです。

**○岡村委員長** ありがとうございます。

安達委員。

**○安達委員** 補足が遅くなったんですが、議会報告会の開催については、このように明記したんですが、いわゆるアンケートについては実施をと言っていますが、アンケートの内容までは会派では十分に議論を深化しておりませんので、どんな内容のアンケートを実施するというところまでは言っておりませんので、ここは具体的なものとしてはまだ議論が不十分なところなんです。ただ今までのような公民館で各会場でやっていたあのようないかならばアンケートの実施も考えていいじゃないか。いわゆる選択という考え方のアンケート実施ということです。以上です。

**○岡村委員長** ありがとうございます。

前原委員。

**○前原委員** 私ども公明党としましては、4月に市長選がありますんで、3月に出てくる骨格予算ですので、6月議会での新しい市長の考え方による新しい予算というか、考えが反映された予算を説明するのがいいかなと私自身も思っていますので、7月ぐらいがいいのかなと思うんですが、ただちょっと懸念されるのが、アンケートというのがあったんですが、アンケートを取って市民が考えていることなどを抽出するのはいいと思うんですけども、それに応えるということは少し広報広聴委員会の役割というか規則の中で、たしか説明できるものは限られていると思いますので、そこを逸脱しまった場合、どうするのかという不安もあるので、そのアンケートがいいのかどうかというのは私自身も分からない状態です。以上です。

**○岡村委員長** 今、それぞれ委員の皆さんから御意見をいただきましたけども、そのほかございませんでしょうか。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** この各会派のところにも議長に進言を行うところが蒼生会のところを書いてあるんですけども、この委員会の中でどこまでどのように決めていくのかということを進めるに当たって、どこでゴーを出してもらおうのかということ整理していかないといけないと思っていますんですけども、先ほど安達委員もおっしゃったみたいにアンケートにつきましては、どうしていくのかということ、今日の委員会の中で詰め切れるのかということを持ち帰ってみたいというふうに私個人としては思います。土光委員がおっしゃったみたいに、この議会報告会、議会の在り方についての意見をアンケートしていくのかという点なのか、市民の市政に対する問題を取っていくのかということ全く違ってくると思いますので、そのあたりをぜひ委員長には整理いただきたいと思います。

**○岡村委員長** ありがとうございます。

佐藤さん。

**○佐藤議事調査担当係長** 先ほどのアンケートのことで一点、事務局のほうからお伝えしておきたいことがあります。まず、初めに矢田貝委員さんのアンケートをするかどうか、どこまでこの委員会に決める権限があるのかということなんですけれども、例えばアンケートを実施するとい

うふうな方向をもしこの委員会で決められるのであれば、それを代表者会なりに持って行って、議長が代表者会の中で意見を聞かれて、議会報告会を中止したときと同じような流れになるんですけども、それで議長が最終的に決めるという流れになるので、ここで話し合いができないというわけではありません。あとアンケートの実施をもししていく方向で進められるということなのですが、実は例えば出雲市議会だとかがしておられ、他の市議会もあるんですけども、例えば、やり方として18歳以上の市民の方を無作為抽出してアンケートと返信用封筒を送って返信をしていただくというようなやり方を取った場合は、やはり費用が発生します。10数万円の計算だったかなと思うんですけども、費用が発生します。御提案いただいているいろいろ調べさせていただきましたが、ただこの間の代表者会で予算計上の説明を事務局からさせていただいたかと思うんですが、もう既に来年度の予算はもう上げている状況です。もし実施するとしたら補正予算を来年度取ってやるということになるんですけども、今、御存じかと思うんですけど、財政状況がコロナの関係で一般財源が来年度は非常に減るということで、大分厳しくなる予定です。先ほど委員からの御意見もありましたけれども、実施をするのであればどういった内容で実施して、そのいただいた意見をどう生かしていくのかまではっきりさせて、こういう意見があるんだということと終わるんじゃないなくて、こういう課題があってそれについて御意見を伺いたい、御意見を公開したいというところまでがあって初めて予算に上げられるものかな。それで出してみようというふうな形になるのかなと思います。どこもが1円単位をどう削るかというのを今頑張っているところなので、やるからにはやり方と中身については、十分協議をしていただく必要があるのかなと思っています。以上です。

**○岡村委員長** ありがとうございます。という事務局のほうからもそういうふうな説明がございましたけども、何かそのほか皆さんのほうからございませんでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** 私が前回も含めて、私が言っているアンケートというイメージは、議会そのものに、議会全般に対する市民の意見を聞くということではなくて、あくまでもこれまで議会主催ということでやってきた議会報告会に関して、市民がどういう考え、どういう要望があるのか、そういうことを聞くという趣旨のアンケートと言っています。当然やるに当たってはどのような質問項目にするのかといろいろあると思います。それから費用のこともあると思います。だからそれはもしやるとしてもそれは今後の検討課題であるというふうに思っています。今回やるというふうに決めるという必要はないと思って、検討課題として考えていこうという意味の提案です。

**○岡村委員長** ありがとうございます。そのほかございませんでしょうか。

門脇委員。

**○門脇委員** ちょっと整理させてください。このアンケートに関してなんですけれど、今、議題に上がっているアンケートの実施については、これは議会報告会をやるかやらないかにかかわらずアンケートをやっていこうという考えの下に今協議をしているんですか。その辺はどうなんですか。

**○岡村委員長** ありがとうございます。今、アンケートを実施するかどうかということについては、信風さんのほうからそういう御提案もあったということも含めてこの議会報告会をやるかやらないにかかわらずアンケートをやったらどうかというふうな御提案だったというふうに思います。ただ実際ほんとにするのかどうかということも含めて、これは持ち帰って御検討をいただき

たいというふうに思うんですけど、あとでちょっと整理していきたいと思っております。

前原委員。

**○前原委員** もう1回整理されたほうがいいと思います。議会報告会をするのかしないのかという点はまだ結論が出ていませんよね。今日皆さんの意見をまとめていただきたいと思っておりますけども、この辺はどうなんでしょうか。時期とかいろいろ皆さん声がありましたけども、これをまずまとめてからアンケートに行かれたほうが整理できるんじゃないかと思っております。

**○岡村委員長** ありがとうございます。それではまず、この議会報告会の開催についてですけども、それぞれ時期も含めて御提案がありました。特に、6月議会を踏まえて、6月の肉づけ予算を踏まえて開催したらどうかといった御意見のほうが多かったんじゃないかなというふうに感じたんですけども、そういう方向でよろしいでしょうか。やるという方向で、6月の肉づけ予算を踏まえた上で開催するといった方向でよろしいでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** 6月にやるというふうに決めるのではなくて、実際コロナの関係がはっきりと分からないので、やるとしたら6月以降になるかなということではないでしょうか。それとももうやるというふうに決める。皆さんがそうだとそれでもいいですが、私としてはやると現時点で決めるのではなくて、やるんだったら実際、いろんなコロナのこと、市長選のことがあるから6月以降になるというのは、それはそうだという前提で、やる準備はするけどそれは状況に応じてということになるのではないかと思っておりますが、いかがですか。

**○岡村委員長** ありがとうございます。今のコロナの状況がありますので、確実にもう必ずこの時点でやるということというのはなかなか決めかねるというふうに思います。今、やるという方向でそれは6月の肉づけ予算を踏まえた上でやっていく、開催していく方向ということというのは確認できるじゃないかと思っておりますけどもいかがでしょうか。

前原委員。

**○前原委員** 今フェーズが変わりましたよね。ほとんどのイベントがコロナに注意しながら感染予防をしながら会場の大きさに合わせた、大体今、イベントではマックスですとたしか50%ぐらいの出席者でやっていくっていうのが、市もそうだと思いますけども、ほとんどのイベント等に関してはそんなふうにはやられています。私は逆に、イベントではありませんけども、あまり行事を減らしていくというのは、先が見えなくなってしまうので、フェーズが変わっていますので、今やるというふうに決めて、それに向けて進んでいく。その近くに、また状況が変わったらフェーズが深刻化したら中止というのもあり得ると思っておりますけども、まずはやるんだという姿勢が必要んじゃないかなと私は思うのですけど。ちょっと土光さんとは意見が違うんですけども。まず、今の段階ではやっていくと、状況を見て駄目ならば中止をかけると、これが今主流じゃないかなと私自身は思っています。

**○岡村委員長** 今、前原委員からは、やるということに向けて準備を進めていくということだと思っておりますけども。

土光委員。

**○土光委員** あんまり前原委員と変わらないと思っているんですけども、まず一つ、6月は議事中だから無理だと思います。当然時期としては7月以降になるんじゃないかと思っております。私が言っているのは、やるという前提で準備を進める。それはそれでいいのではないかと、やるという

ことを決めて準備を進めて、状況によっては中止するということだけど、結局、中身は一緒ですよ。だからそこはそんなに違いはないと思う。やる前提で準備を進めるというのはそれはそうだと思いますということです。先ほどのアンケートのこの関連でいうと、私としては議会報告会をするしないにかかわらずアンケートをやろうというところまでは実は言っていません。例えばいろんな状況で議会報告会をやる方向で模索するけど、結果的に近いうちにできる状況にないということだったら、その代わりといったら変だけど、何もやらないのではなくてアンケートを実施するとか、だからちょっと出ましたけど、オンラインのことを考えると、そういうある意味できないという状況だったらそういったことをやるということも考えてもいいのではないかと思います。

**○岡村委員長** 議会報告会についてですけれども、今、前原委員、土光委員からおっしゃっていただいて、方向としては大きく変わると、違うということではなかったんじゃないかなというふうに私は感じました。ということで、やることを前提に準備を進めていく。時期としては、6月議会の肉づけ予算を踏まえて開催していくという形で準備を進めていくということで、どうでしょうか。

では、その方向で進めていくということで確認してよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** ありがとうございます。このアンケートですけども、今、土光委員のほうからは、議会報告会をやらないのだったらアンケートもというふうな形で提案していただいたというふうな御発言だったと思うんですけども、こちら辺は信風さんとして、安達委員さんどうでしょうか。

安達委員。

**○安達委員** 細かい発言理由まではお互い聞き取りながらしゃべっていないんですが、このアンケートを実施したらどうですかという提案は、やらないならという思いがあった話かなと思ってこのような記述をしました。ですから、今までの報告会のようなやり方ができないなら、アンケート実施も考えの中に入れたら、いろんなやり方があるでしょうけど、動画とか、オンラインとかあるでしょうけども、アンケート実施も考えたらいいじゃないですか。先ほど言いましたように、内容まで深く踏み込んでおられません。以上です。

**○岡村委員長** ありがとうございます。信風さんのほうの御提案も、もし議会報告会をやるのならというふうな形でのアンケートの御提案だったというふうに受け止めさせていただきましたが、一応今の段階で議会報告会はやっていくということを経営に準備を進めるということが確認できましたので、アンケートについては、とりあえず今回は議題からはずしていくということで確認してよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** じゃあそういう形で進めさせていただきます。あと6月以降というふうな形に、今、確認できましたので、あと細かいどういうふうな開催方法ですか、例えば、従来どおり公民館というのでしょうか、自治会を4ブロックに分けて開催するのがいいのか。それともこういった状況なのでどっか1か所に集めて大きいところで、ソーシャル・ディスタンスを確保した上で開催するのがいいのか。またそういった点についても協議していきたいというふうに思うんですけども、そういった点も含めてまた会派の皆さんとお話しいたいてこの委員会に議論を反映し

ていただきたいというふうに思うんですけど、そういう形でよろしいでしょうか。

門脇委員。

**○門脇委員** 事務局にお聞きしますが、米子市議会報告会開催要綱の中の第4条で報告会の場所というか、ブロックごとという規定がありますが、これは状況に応じて変えたりすることは大丈夫なんですか。

**○岡村委員長** 佐藤さん。

**○佐藤議事調査担当係長** おっしゃるとおり今日、資料につけさせていただいております議会報告会の開催要綱第4条ですね。こちらにつきまして、以前ちょっとお話したかと記憶しているんですけども、もしこの4ブロックではなく、コロナの状況を見て先ほど委員長さんが言われましたように、大きな会場で距離を取ってやるということになりましたら、言われますように、こちらの変更が必要になります。そうなりますと、文言の変更について提案をさせていただいて、開催要綱は議決がいないものですので、こちらは議会運営委員会のほうで変更の協議をしていただいで変更していくというような形にするという流れも可能です。以上です。

**○岡村委員長** ということで手続的にはそういうふうな形で進めることもできるということをお理解いただけたらと思いますけれども。

土光委員。

**○土光委員** この要綱の4条とか6条に関する確認ですけど、4ブロックというのは、この要綱で確定しているんですか。

**○岡村委員長** 佐藤さん。

**○佐藤議事調査担当係長** 第3条のところを4つに分けるというようなことが、第2項のところ、班の数は4とし、その下のところに自治連のブロックに設ける班のいずれかの担当によりというふうになっているので、ブロックが今4つしかないです。米子市の自治連のブロックが必然的に4つになるというような形ですね。班も4つというような内容です。

**○岡村委員長** 土光委員。

**○土光委員** 3条に班の数が4だからということだと思いますが、ただ経緯としては、最初に議会報告会を始めるころの議論の中で、実は4ブロックか5ブロックにするかという議論があったと思います。5というのは淀江地区を独立するという案とか考えがあったと思います。結果的に、正確な議事録云々は今正確ではないかもしれませんが、とりあえず4ブロックでいこうと、各自治会に意向を聞いて、特に強い要望があるんだったら淀江でということも検討課題にしようというそういった経緯だと私は思っているのですが。違いますかどうでしょうか。

**○岡村委員長** 佐藤さん。

**○佐藤議事調査担当係長** 多分、それは代表者会か何かで話をされたのか、議会運営委員会のどこかで話をされたか、ここには資料はないのでわからないんですけども、もしそういう御提案をされるのであれば、代表者会なりでしていただいでそこで協議していただく。もしこの委員会が1か所でやるという提案をすれば、それをもって代表者会に持って行って協議をしていただく。同じような流れになるかなと思います。ここではそれはどうこうというのは決められないですね。以上です。

**○岡村委員長** いずれにしても、そういう、どういうふうな開催で準備を進めていくかということについては、今後また協議を進めていきたいというふうに思いますので、よろしくお願

します。それとあと、以上の点でよろしいでしょうか。広報広聴委員会の名称についてということについては、大方の意見が現状どおりでいいじゃないかということだと思いますけども、土光委員何かもう一遍ありますか、御意見はもういいですか。

土光委員。

**○土光委員** 名称に関しては先ほど言いましたが、私としては、皆さんの意見を聞いた上でも変更をしたほうがいいかなと私は思っているのですが、ただ委員会としてそういう方向にならないというのは、これを読んだら確信をしましたので、そう理解していますということです。

**○岡村委員長** ありがとうございます。ではこれについては、いろいろ土光委員などから御提案いただきましたけども、今の段階では現状どおりでやっていくということで進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。以上の点はよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** ではその他のところに移っていきたく思いますけども、まず最初に皆さんに私のほうからおわびしたいと思っております。実は田村委員から御提案いただきました表紙の写真のことについて、取り上げられなかったものについては、佳作とかそういうふうな扱いで紹介したらどうかということをご提案いただきまして、これについて持ち帰りということに前回させていただいたというふうに思いますが、申し訳ございません、私がそのことについて失念しておりまして、今日の議題に取り上げるということでフレームを作っていたときに、それを抜かしておりました。本当に申し訳ございませんでした。これについては、何か会派で御論議いただいたところというのはございますでしょうか。

田村委員。

**○田村委員** 委員長の言葉、しかと受け止めました結構でございます。ありがとうございます。

これについては、会派でも打合せした際に出てきたんですけれども、要するに紙面に余裕がないというのは前、佐藤さんのほうからも伺っております。イメージとしては、募集のコーナーが一番裏面にあるんですけれども、そこに例えばそこに挿絵カットなどが入るような余地があったと思うんですが、そういったスペースを活用して今回は選ばれなかったけれども、惜しくも佳作になったやつ、例えば、この委員会などで意見が割れた作品、こっちのほうに決定したんですけども何票かがこの作品に入った、といった作品を挙げていくと、紹介していくということで、今回は惜しかったけれども、次また表彰を目指して投稿しようかというようなモチベーションにつながるんじゃないか、という思いで御提案申し上げたものでありまして、会派としてはそのようにお計らいいただければ、という考えを持っております。以上です。

**○岡村委員長** ということで補足提案というふうな形でやっていただきましたけども、これについては皆さん特に、これが改まって佳作だというコーナーを作るということではなくて、そういう形で紹介していくことができるんじゃないかというふうな御提案だったというふうに思います。それはまた、議会だよりの編集のときに、こういうこともできるんじゃないかというふうなところを頭に入れながら編集作業をしていくということで進めさせていただくということでもいいんじゃないか、というふうに私としては思ったんですけど、皆さん御意見何かございましたら。

前原委員。

**○前原委員** ぜひともやっていただきたいなと思っております。

**○岡村委員長** ありがとうございます。次回以降そういうふうな形で編集を進めていくと、やっ



ていくということで、ぜひ積極的に応募していただく、そういうふうなところを作っていきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

そのほか皆さんのほうからございませんでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** ないようですので、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午前10時33分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長 岡 村 英 治